

KALS 大学院入試対策講座 受講生の皆様

専属チューターからメッセージ



2011 チュートリアル通信

【MBA Vol.22】

合塾 KALS の大学院入試対策講座では、チューター制度を導入しています。授業での合格指導のみならず、受講生向け学習ガイダンス「サクセスチュートリアル」や個別相談（カウンセリング）などを通じて、進路・志望先に関する事、自主学习に関する事など、合格に向けてきめ細かくアドバイスをしています。以下は、MBA チューターから皆さんへのメッセージです。今後の受験対策のご参考にしてください！ なお、以下の内容について更にご質問がある場合は、個別のカウンセリングでチューターがきめ細かにご指導いたします。



こんにちは。1月も後半にさしかかってきました。早い方は、入試本番を迎えているのではないのでしょうか。これまで学習してきた成果を十分に発揮され、寒さに負けずに引き続きがんばりましょう。さて、今回も前回の「春入試 直前期の勉強法と面接対策」の続きです。入試直前のこの時期にやるべきこと、主には試験対策の勉強の方法や面接対策についてアドバイスしていきたいと思います。あくまでも、私見に基づいた話や、去年秋入試を受験された受講生の方の意見を基に、作成しております。そのため、自分自身で勉強を確立されている方に関しては、参考程度にお読み下さい。

◎春入試 直前期の勉強法と面接対策②

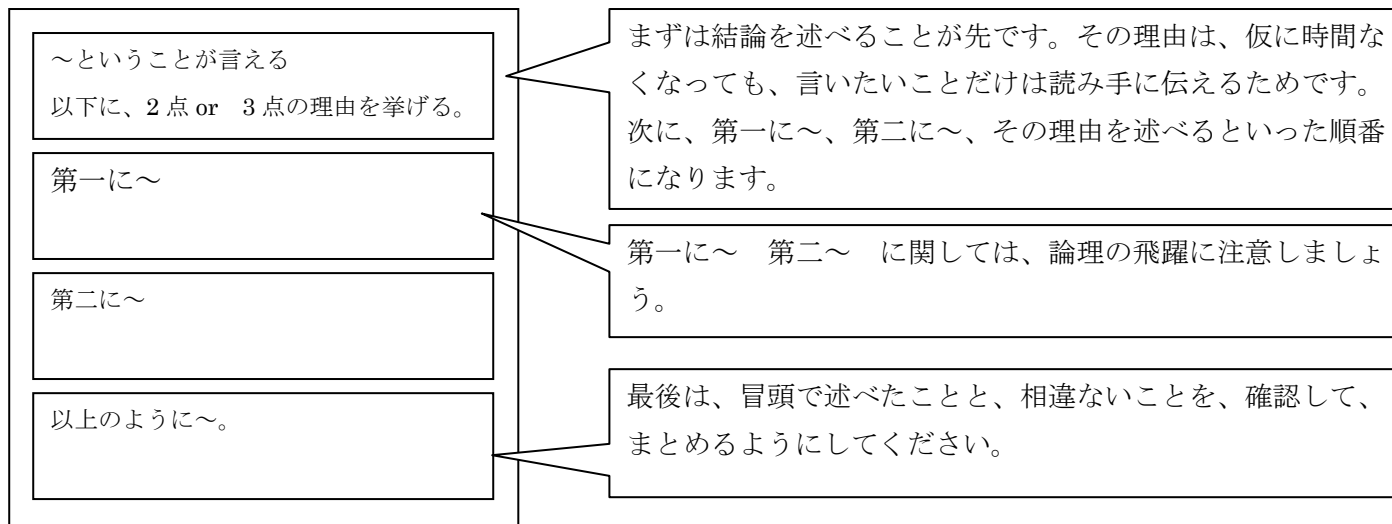
【志望校の過去問分析】

皆さんのほとんどはすでに過去問を入手し、何度か試しに解いてみたことと思います。何年分かの過去問を解くと、大体の出題の形式、出題の傾向がつかめると思います。例えば、テクニカルタームを説明させる問題を毎年出題していることがわかったとして、過去問を解いているうちに「人事・財務などの分野から出題されている用語の方が多い」などと気づくことがあります。出題の形式はすぐにつかめるのですが、傾向まで考えると、勉強する範囲を絞り込むことができ、大変有効です。また、過去数年以内に出題された問題と同じ問題が今年出題されることはありません。そのため、過去問を何年分か見て、良く出題される分野だが、現在の受験まで出題されていない重要事項はないか考えてみましょう。ただ、ヤマをはるのは非常に危険なので、まだ出ていない重要事項を探りつつ、良く出題される範囲に関しては万遍無く学習するようにしましょう。

ある程度出題の形式を確認したあとは、試験当日と同じ時間設定で問題を解いてみることをお勧めします。大学院入試は長時間の試験時間が設定される例が多いですが、本番同様に試験を取り組むと以外に時間がないことに気づくはずです。そのため、試験では時間配分と解答する順番などの自分なりの戦略が必要となります。本番を迎える前に、過去問を使い、大体の戦略を立ててしまいましょう。例えば大問が2題出る場合はどちらの問題を先に解いたら良いか。時間をかけた方が良い問題はあるか、その分なるべく早く解くべき問題はあるか。何度か過去問を解いて、試験の進め方について自分でじっくり戦略を考えることが重要です。

【小論文対策】

前回重視した点ではありますが、小論文は急に書けるようになるものではないので、それなりに練習と努力の積み重ねが大切です。練習する以外解決する方法はありません。試験は時間との勝負でもあるので、自分の意見をいかに時間内に分かりやすく書けるか、自分なりの方法を見つけることが重要です。それでも、全くわからないという方は、授業で配布される解答をまず、じっくり読み込むことをお勧めします。以下に、小論文の基本的な書き方について記載しておきます。



【面接対策－前回の続き－】

前回と重なる部分もありますが確認も含めて、最後に面接対策についてお話したいと思います。面接対策は何をすればよいのかわからなくなりがちですが、面接の前に行うべきことは基本的には以下のことと考えています。

- ①自己紹介、志望動機、研究計画を3～5分程度で要点をまとめて言えるよう練習しておく。
- ②提出した研究計画書を熟読し、面接中に論点が研究計画書の内容とずれないようにしておく。
- ③研究計画書の提出後に気付いた点で、面接で説明すべき事項をまとめておく。
- ④大学院進学と将来の進路の整合性について考えておく。

当然面接では、これらとは違う突発的な質問をされることも多々あります。しかし、面接で重要視される上記の基本事項をしっかりと固めることが大切です。

それでは、最後まで気を抜かず、引き続き勉強がんばりましょう。

MBA チューター 川副